

第15期代表者の募集案内

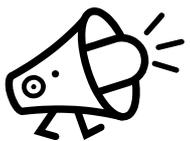
外国人市民代表者会議は、川崎市が外国人市民の市政参加のための仕組みとして1996年に条例で設置した会議です。外国人市民が日ごろの生活の中で感じていることや抱えている問題などについて、自分たちでテーマを決めて調査審議し、その結果を市長へ提言しています。

- 任期：2024年4月1日から2026年3月31日まで（2年間）
- 募集人数：26人以内
- 活動：会議は年に8～9回、日曜日の午後開催されます。また、会議のほかにフィールドワークを行ったり、市民祭りなどのイベントに参加したりもします。
- 応募方法：2023年11月21日（火）までに応募用紙を郵送してください（当日消印有効）
- 応募資格：（1）（2）（3）のすべてに当てはまる人
 - 日本国籍を持たない人
 - 2024年4月1日時点で満18歳以上の人
 - 2024年4月1日時点で引き続き1年以上、川崎市の住民基本台帳に登録されている人
- 応募用紙は、9月から区役所、市民館、図書館、国際交流センター等に置いてあります。
- 市のHPからもダウンロードできます。

【お問合せ】

川崎市 市民文化局 多文化共生推進課 外国人市民施策担当

TEL 044-200-2846 FAX 044-200-3707 E-mail 25gaikok@city.kawasaki.jp



会議を傍聴してみませんか？

——2023年度の代表者会議の日程——

時間：午後2時から午後5時まで

	日程	場所
第2回	2023年9月10日（日）	川崎市国際交流センター
第3回	2023年10月15日（日）	中原市民館
	2023年12月10日（日）	中原市民館
第4回	2024年1月14日（日）	川崎市国際交流センター
	2024年2月4日（日）	川崎市国際交流センター

会議は、誰でも傍聴することができます。ぜひ代表者会議に来てみてください！

《第14期の調査審議の報告》

▶ 安心生活部会

安心生活部会では、第2回第1日の会議で提言候補の絞り込みをしました。安心生活部会では、各テーマについて積極的に意見交換をし、審議を行った結果、提言のテーマは「産後支援制度」に決まりました。

今後の課題としては、母子健康手帳と子育てガイドブックの掲載ルールについて確認するとともに、両親学級やかわさき子育てアプリについても調べ、提言の方向性を絞っていきたいと考えています。

ぶかいちょう ひりすとば がぶりえら
部会長 ヒリストバ ガブリエラ

▶ 情報・社会部会

情報・社会部会では、第2回第1日の会議で提言候補の絞り込みをしました。これまで、4つの審議テーマについて審議を重ねてきましたが、たくさんの意見が出た中から外国人だけではなく、日本人にとっても重要なテーマである「介護保険制度」について提言をまとめることに決定しました。

これからは、あらためて現状や課題を整理し、川崎市民と介護にかかわる方たちにとって、意味のあるよい提言にまとめられるよう、メンバー一丸となって取り組みたいと思います。

ぶかいちょう いとう ゆりか きゃれん
部会長 イトウ ユリカ キャレン

☆オープン会議のお知らせ☆

オープン会議は、多くの方に代表者会議を知ってもらうとともに、広く参加者の方からご意見やご質問をいただくための会議です。誰でも参加できます。日本語が苦手な方には代表者が通訳します。

- 日時：2023年11月19日（日） 午後2時から午後5時まで（予定）
- 場所：中原市民館



★今年度のオープン会議では、第14期の代表者が考えている提言案についてご意見をいただく予定です。

☆第15期の代表者会議に応募してみたいと思っている人は、ぜひご参加ください。

◇◆◇ 世界の秋の伝統的なお祭り ◇◆◇

▷ タイの「ベジタリアン・フェスティバル」

10月になると日本では「食欲の秋」という言葉がありますが、タイでは10月の中旬頃(今年は10月14日～23日)に9日間、お肉を食べないお祭りがあります。お祭りははじまりはプーケットに住んでいる華僑からはじまったようですが、おもしろいことにこのお祭りは中国本土では行われていません。昔、伝染病でたくさん人が亡くなった際に、神様にお祈りをして動物を殺さず自分の身を清めたという伝説からはじまったそうです。

お祭りの期間中、とくにプーケット市内では黄色地に赤い文字で「齋」と書かれた旗をよく見かけます。また、このマークが貼ってある食品もコンビニで売られます。タイ語では「キン・ジェ(野菜を食べる)」といいますが、食べられないものは肉類だけでなく、卵、牛乳、ヨーグルトや匂いが強い野菜(ニンニク、ネギ、玉ねぎ、ニラなど)も禁止です。タイで人気な調味料のナムプラも食べられません。



このお祭りのハイライトの1つはパレードなのですが、参加者が刃物や鉄の串などを頬や舌に刺してパレードを行います。見ているだけでも痛く感じる光景なのですが、自分を痛めることで神に近づこうとするものなのです。人々の信仰とエネルギーが溢れるお祭りを、機会があればぜひ一度体験してみませんか!

の だ ゆ わ り
野田 ユワリー

▷ メキシコの「死者の日」

メキシコには10月31日から11月2日まで、「ディア・デ・ムエルトス(死者の日)」という伝統的なお祭りがあります。2017年に公開された映画「リメンバー・ミー」のモチーフにもなったお祭りです。このお祭りは故郷に帰って家族と一緒に故人のことを思い出すもので、日本のお盆と似ていますが、お盆とは違ってあくまでも明るく楽しいのが特徴です。



「死者の日」には家の中にオフレндаという祭壇を設置し、故人の写真とともに故人が生前に好きだった食べ物や飲みもの、この時期にしか食べられないパン・デ・ムエルト(死者の日のパン)、ロウソクなどをお供えます。ほかにも、オフレндаにはガイコツのかたちをしたチョコレートやキャンディー、センパスーチル(千寿菊の花; マリーゴールド)の飾りがよく見られます。これはアステカ文明の影響なのですが、「死者の日」はスペイン侵攻後のカトリックの影響とメキシコの先住民の信仰が混ざりあって生まれたものです。

ま い あ さ え る
マイ アサエル

【お問合せ】

かわさきしし ぶんぶんかきよくし ぶんせいかつぶた ぶんかきよせいすいしんか
川崎市市民文化局市民生活部多文化共生推進課

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町11-2 川崎フロンティアビル9F

Tel : 044-200-2846 Fax : 044-200-3707 E-mail : 25gaikok@city.kawasaki.jp

だいひょうしゃかいぎ や にゅーずれたーへのご意見・ご感想をお待ちしています。

この紙は、古紙パルプ配合率 70%の再生紙を使用しています。

R70
古紙パルプ配合率70%再生紙を使用